

# 第三セクターの経営情報について

平成27年8月6日  
産業経済局商業振興課

報告対象団体		北九州まちづくり応援団株式会社	
会社概要	会社の事業内容	1. 指定管理者事業 2. 中心市街地活性化事業 3. 賑わいイベント事務局業務 4. 北九州市からの受託業務 5. その他自主事業	
	資本金額	32,000	千円
	本市の出資額	1,000	千円
	本市の出資割合	3.125	%
	従業員数	(平成27年3月31日現在) 34 人	
営業報告の要点		<p>小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わい創出のための活動を行った。</p> 1. 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」及び「水環境館」の指定管理者として、施設の管理・運営を行ったが、「小倉城」が耐震工事のため4月から12月まで閉城したため、入場者数が大幅に減少した。 2. 中心市街地活性化事業 小倉地区において、「こくらハローズ事業」、「インフォメーション事業」、「おもてなしトイレ」、「共通駐車券業」等の事業を実施した。 3. 賑わいイベント事務局業務 「小倉イルミネーション」、「紫川にぎわいづくり」等の実行委員会や「大乾杯大会」の事務局業務を行った。 4. 北九州市からの受託業務 体制見直しや経費削減等により、黒字を確保した。 5. その他自主事業 小倉地区における「サンリオ小倉ビル」では、入居テナントへの来店者数が順調に推移した。また、黒崎地区における「ニューながしまフード」では、新たな大型商業店舗のオープン等により、売上の落ち込みが改善せず、厳しい経営状況となった。	
収支状況の要点	当期純損失	△ 11,738 千円	
	前年度との比較	・売上高 291,789千円（前年度比 55,252千円の減） ・経常損失 △11,738千円（前年度比18,572千円の減）（前年度経常利益 6,834千円） ・当期純損失は △11,738千円（前年度比16,122千円の減）（前年度純利益 4,384千円）	
	その他 (剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など)	・前期末（平成26年3月31日）の繰越利益剰余金 6,389千円	
利益処分	当期末処理利益（損失）	△ 5,349 千円	
株主総会 (平成27年6月22日開催)	監査報告	監査役1名が監査した結果、適法かつ正確であった。	
	議案	決議事項 第1号議案 第10期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業報告及び決算（案）の件 第2号議案 取締役辞任及び取締役選任の件 報告事項 1 第11期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）事業計画の件 議案は異議なく承認可決。	

(平成27年3月31日現在)



北九州まちづくり応援団株式会社

平成 26 年度 経営状況報告

平成 27 年 8 月 6 日  
産 業 経 済 局



# 1号議案

# 平成26年度事業報告書

〔 自：平成26年4月1日 〕  
〔 至：平成27年3月31日 〕

## 活動の概要および成果

当社は、北九州市の小倉地区並びに黒崎地区中心市街地の賑わい創出の為の活動を行なってまいりました。

当年度は、①指定管理事業、②「こくらハローズ」をはじめとする中心市街地活性化事業、③賑わいイベント事務局事業、④北九州市からの受託事業、⑤商店街支援補助金をはじめとする補助金事業、⑥「サンリオ小倉ビル」管理事業、⑦「ニューながしまフード」事業を進めてまいりました。

北九州市からの「指定管理事業」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、小倉城が耐震工事のため4月1日から12月13日まで閉城とり、入場料収入が大幅に減少いたしました。当初予算でも閉城期の影響は見込んでおりましたが、工期が3か月延長となりイベントの集中する秋に開城が間に合わず、収入が想定よりも減少し赤字を計上することになりました。

「中心市街地活性化事業」および「賑わいイベント事務局事業」については、おおむね予定通りの活動が出来て、小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与することができました。

「北九州市からの受託事業」（小倉地区・黒崎地区）については、基本計画が終了し、当年度北九州市からの受託金が大幅に削減されたため、体制の見直しや経費の削減に努めた結果、黒字を確保することができました。

「補助金事業」としては、商店街支援事業として平成25年度に受託した(株)全国商店街支援センターの商店街の創業支援事業並びに起業支援型地域雇用創造事業を継続受託いたしました。結果として、子育てママたちの交流を図るためのWebサイトとママトモでの実際交流の相乗効果でコミュニティの立ち上げが実現しました。

また本事業終了後、当社の自主事業として若いママ向けの無料情報誌「リトルママ北九州版」の発行を検討し、試験的に実施したものの当初見込んでいた広告料収入が予想を大きく未達となり経費をまかなうことができなかつたため、大幅な赤字となり、昨年12月をもって事業を終了いたしました。

「サンリオ小倉ビル管理事業」については、1Fテナントの「カルディー」は引き続き来店者が順調に推移していることから安定的な賃料を得ることが出来ています。2Fのテナン

ト「ママトモ」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設「ママトモ」の認知 PR 活動を行ってきた結果、徐々に有料託児人数が増加してきています。また3Fの多目的スペースについては、子育て支援講座などへの貸出しを推進したことにより利用件数が増加するとともに、講座期間中「ママトモ」への有料託児人数の増加にもつなげることが出来ました。

なお本ビルを賃借するに当たり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金1600万円と銀行からの借入金により調達しておりますが、銀行借入金については、予定通り返済を進めており、当期末の借入金残高は824万円となっております。(返済完了は平成34年9月末予定)

「ニューながしまフード事業」については、厳しい事業環境の中、商店街イベントに積極的に参加したり、展示方法の変更・他地域の特産店との連携を強化するなどしてまいりましたが、黒崎地区に新たに大型商業店舗がオープンした影響が大きく、売り上げの落ち込みが改善せず、今年度は赤字を計上することになりました。

以上の事業活動の結果、当社の今年度の収入は、2億9179万円（対前年84.8%）となり前年を大きく下回ることとなりました。そして経常利益としましては、1,174万円（対前年▲367.8%）の赤字となり、前年度を大きく下回る厳しい決算となりました。

## 貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日 現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流 動 資 産】</b>	<b>【 51,033,909】</b>	<b>【流 動 負 債】</b>	<b>【 27,038,855】</b>
現 金	2,442,407	買 掛 金	1,300,872
預 金	26,279,953	未 払 費 用	14,202,622
商 品	5,372,412	未 払 法 人 税 等	611,000
貯 蔵 品	1,926,295	預 り 金	5,138,321
仮 払 金	200,000	仮 受 金	27,840
未 収 入 金	14,807,842	未 払 消 費 税	2,758,200
立 替 金	5,000	預 り 敷 金	3,000,000
<b>【固 定 資 産】</b>	<b>【 10,895,841】</b>	<b>【固 定 負 債】</b>	<b>【 8,240,000】</b>
(有 形 固 定 資 産)	( 7,105,841)	長 期 借 入 金	8,240,000
建 物	4,336,579	負 債 合 計	35,278,855
建 物 附 属 設 備	2,769,262		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	( 3,790,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000		
出 資 金	10,000	<b>【株 主 資 本】</b>	<b>【 26,650,895】</b>
差 入 保 証 金	600,000	資 本 金	32,000,000
敷 金	3,120,000	(利 益 剰 余 金)	( 45,349,105)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	45,349,105
		繰 越 利 益 剰 余 金	45,349,105
		純 資 産 合 計	26,650,895
資 産 合 計	61,929,750	負 債 ・ 純 資 産 合 計	61,929,750

損益計算書

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

(単位円)

科 目	金 額	金 額
【売上高】		
事業収入金	97,834,852	
店 売 上	27,867,567	
小倉城関連売上	166,086,368	291,788,787
【売上原価】		
期首棚卸高	2,610,887	
小倉城関連売上原価	9,470,712	
仕 入 高	65,264,024	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊	77,345,623	
期末棚卸高	▲5,372,412	71,973,211
売上総利益金額		219,815,576
【販売費及び一般管理費】		233,764,221
営業損失金額		▲13,948,645
【営業外収益】		
受 取 利 息	8,249	
雑 収 入	2,377,390	2,385,639
【営業外費用】		
支払利息割引料	109,392	
雑 損 失	65,951	175,343
経常損失金額		▲11,738,349
税引前当期純損失金額		▲11,738,349
当期純損失金額		▲11,738,349



販売費及び一般管理費

自平成 26 年 4 月 1 日

至平成 27 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額
給 与 手 当	24,069,142
賞 与	352,000
法 定 福 利 費	3,995,280
福 利 厚 生 費	1,516,115
旅 費 交 通 費	446,386
通 信 費	842,770
交 際 費	95,071
減 価 償 却 費	749,087
賃 借 料	916,432
保 險 料	110,902
修 繕 費	12,000
水 道 光 熱 費	2,540,972
消 耗 品 費	1,187,390
租 税 公 課	747,789
運 賃	2,850
事 務 用 品 費	14,401
支 払 手 数 料	623,637
諸 会 費	463,568
会 議 費	62,415
販 売 促 進 費	258,864
地 代 家 賃	6,735,322
事 業 運 営 費	25,876,649
協 賛 金	95,000
視 察 費	385,812
雑 費	1,302,082
小倉城関連諸経費	160,362,285
合 計	233,764,221

## 小倉城関連諸経費の内訳

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額
給 与 手 当	48,703,301
賞 与	6,468,000
雑 給	8,463,947
法 定 福 利 費	10,082,837
福 利 厚 生 費	4,685,700
委 託 費	519,551
旅 費 交 通 費	841,330
通 信 費	965,964
交 際 費	251,044
賃 借 料	536,367
保 険 料	138,601
修 繕 費	1,808,636
水 道 光 熱 費	11,770,417
運 賃	1,807
消 耗 品 費	1,161,365
租 税 公 課	38,486
車 両 費	85,463
事 務 用 品 費	513,891
広 告 宣 伝 費	673,000
印 刷 物 等 作 成 費	1,034,220
支 払 手 数 料	289,558
諸 会 費	80,000
新 聞 図 書 費	74,021
呈 茶 関 連 費 用	5,534,956
文 化 関 連 費 用	30,253,817
維 持 清 掃 費	17,626,289
警 備 業 務 費	1,287,828
保 守 点 検 費	2,207,400
協 賛 金	2,410,000
雑 費	1,854,489
合 計	160,362,285

株主資本等変動計算書

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

(単位 円)

株主資本

資本金

当期首残高及び当期末残高

32,000,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高

6,389,244

当期変動額

当期純損失

△11,738,349

当期末残高

△5,349,105

株主資本合計

当期首残高

38,389,244

当期変動額

△11,738,349

当期末残高

26,650,895

個別注記表

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）は定額法）を採用しています。

(2) 無形固定資産 定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

減価償却累計額の金額

有形固定資産の減価償却累計額 1,987,919円

その他の注記

販売費及び一般管理費

小倉城関連売上原価、小倉城関連諸経費の内訳は会社保存

## 監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社  
代表取締役社長 原田 康 様


第10期事業年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日迄）の  
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。

その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

平成27年6月 / 日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役： 前川 義広 

## 第2号議案

### 取締役辞任及び取締役選任について

氏名	生年月日		備考
田島 裕美	■	取締役	北九州市 小倉北区長
中村 渉	■	取締役	北九州商工会議所 参事

※横矢順二取締役は、第10回株主総会をもって辞任

※二郎丸聡夫専務取締役は、第10回株主総会をもって辞任

#### ・取締役の任期期間

至 第10回定時株主総会終結時 (平成27年6月22日)

至 第11回定時株主総会終結時 (平成28年6月末予定)

## 【報告事項】

## 第 11 期平成 27 年度事業計画書

〔 自：平成 27 年 4 月 1 日 〕  
〔 至：平成 28 年 3 月 31 日 〕

### 活動計画の概要

当年度は、「北九州市中心市街地活性化基本計画」（小倉地区・黒崎地区）が平成 26 年 3 月末で終了し行政の関連予算が大幅減少したこと、並びに前年度に大幅な欠損を計上したことなどより、不採算部門の廃止や事業規模の縮小などの見直しを行い、以下の事業に取り組んでまいります。

① 指定管理事業、② 共通駐車券事業、③ 賑わいイベント事務局事業、④ 北九州市からの受託事業、⑤ 「サンリオ小倉ビル」管理事業、⑥ ニューながしまフード事業

これらの活動を通して引き続き、小倉・黒崎地区の賑わいづくり・活性化に寄与していきたいと考えております。

「指定管理者事業」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、耐震工事も終了し、今年度から 1 年間を通じて様々なイベント・講習会などを開催していく予定です。

「共通駐車券事業」については、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的に事業 PR ツールについての研究を行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」については、「紫川にぎわいづくり実行委員会」が本年度は実施されない予定と聞いており減収となりますが、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局は例年通り受託を予定しており、イルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定しております。

「北九州市からの受託事業」（小倉地区・黒崎地区）については、本年も引続き事業受託を予定していますが、市からの受託金が削減されることは確実な状況にあります。そのため、小倉・黒崎両地区で、体制の見直し、人員削減や業務委託による外部発注などを通じてコストの削減に努めてまいります。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、1 F テナントの「カルディ」は引き続き来店者が順調に推移していることから安定的な賃料を確保できると考えております。2 F のテナント「ママトモ」については、引き続き有料託児人数を増やすためママトモの認知 PR 活動を推進するとともに、市から小規模保育施設の認定を受けられるよう支援してまいります。また 3 F の多目的スペースについても、昨年同様「子育て支援講座」などへの貸出しを推進し、2 F のママトモへの有料託児と併せて収入となるように努力してまいります。

「ニューながしまフード」事業については、売上減少に歯止めが掛からず黒字化への見通しが立たないため、関係者への周知期間を経た後、すみやかに事業精算を行います。

結果として 第 11 期の売上高 2 億 7,035 万円を見込んでおり、経常利益については、事業精算関連費用等の計上の必要があり 10 万円を計画しております。



## 会社の概要

平成27年3月31日現在

## (1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託
- ④食料品・日用雑貨等の小売販売

## (2) 事業所

本社

- ・北九州市小倉北区魚町2丁目2番11号

黒崎支店

- ・北九州市八幡西区黒崎2丁目8-7 長島ビル 2階

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園・水環境館）

- ・北九州市小倉北区城内2番1号（小倉城） 他

ニューながしまフード

- ・北九州市八幡西区熊手1-1-18

## (3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

## (4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
株式会社アパマンショップホールディングス	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合計	640株	3200万円

## (5) 取締役及び監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		取締役会長	北九州商工会議所会頭
原田康		取締役社長	北九州商工会議所副会頭
二郎丸聡夫		専務取締役	北九州商工会議所事務局長
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会理事長
横矢順二		取締役	北九州市小倉北区長
岡田孝徳		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
前川義広		監査役	西鉄バス北九州(株) 取締役社長